今日の富士山

つかはら にはち

年明けとともに地球が大きなうねりを上げた。

平和な営みを一瞬のうちに打ち砕くかのような地震に見舞われ、尊い命を落とされた能登の人々には心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様にお見舞い申し上げます。僅かではあっても何らかの手助けをとも思っています。

地球が誕生して四十六億年の月日が流れる中において幾度もマグマを吹き上げながら雄叫びを上げ、地中の奥深くで脈を打ちながら大地を揺るがした歴史のなかに今日がある。

いつの日か、寿命が尽きるであろうその日まで。疾風怒濤などとありふれた言葉で表現することも出来ないほどに、この先五十億年、七十六億年。地球学者の意見が分かれるほどに途方もないほどの長い年月において繰り返されるであろう。地球が生きて居る証でもある。

そして私達はこの地球がもたらしてくれる恩恵を授かりながら日々の生活を営んでいる。

これからも起きる苦難に打ち勝つためにも、阪神淡路大地震、東日本大地震など大きな災害時同様に日本政府はもちろんのこと国内各地、世界各地からの暖かい支援に支えられながらたくましく復興を成し遂げてきた。未だに道半ばの人もいるではあろうがくじけることなく前に進んで欲しいと願うばかりである。

まだ始まったばかりの苦難ではあるが前を向いて欲しいと願うばかりである。

こうした地球規模での営みの過程の中で十万年前に姿を現した我が国の富士山。この富士山でさえ再び火を噴くことがあると盛んに言われてはいるが元旦の富士山は有りがたいほどに天候にも恵まれまばゆいばかりの朝日を拝ましてくれた。

今日も頂きを白く染めた富士山は静かにその勇姿を見せてくれている。

苦難に負けることなく助け合ってと勇気づけるかのように語り掛けてくれている。

了